

# ジンシャリ

盆美ニュース JINSHARI

vol. 1 2012.1

## 「ジンシャリ」とは？

歳月を経た松柏盆栽は、幹や枝の一部が枯れて、そのままの形を残すことがあります。枝は「ジン(神)」、幹の部分は「シャリ(舍利)」と呼ばれます。「ジン」と「シャリ」は盆栽の見どころのひとつです。このたび創刊することになったニュースレター「ジンシャリ」では、大宮盆栽美術館の見どころを紹介していきます。写真は、真柏 銘「寿雲」です。





# 山田香織個展 彩花盆栽 祈りと喜 (いのりとよろこび)

生きとし生けるものへの慈愛 — 植物の芽生えと成長に、祈りと喜びを託して



草木の芽が生ずることへの祈り、そして無事に成長していくことの喜びを、一鉢に表現する。

本年2月より、当美術館では初の試みとなる、盆栽作家による個展を開催します。その作家とは、テレビ出演や講演など、盆栽の枠を超えて活躍中の、いままさに旬と言える女流盆栽作家、清香園5代目園主の山田香織さんです。

山田さんは、自ら創作する新しい盆栽の流儀を、「彩花盆栽」と呼んでいます。これは山田さんの父親である、清香園4代目園主山田登美男さんが創出した、新しいスタイルの盆栽です。その特徴とは、オリジナルデザインの一鉢に、木と草花を寄せ植えにした作品で、それまでの盆栽にはない、モダンな感覚と、それを継承した香織さんが追求する女性ならではの繊細さを特徴としており、



主に女性層を中心に幅広い支持を得ています。

本展覧会では、盆栽の新たな可能性を追求する、作家・山田香織の作品世界を、新制作の盆栽に込めた「祈り」と「喜」と題した2部構成によって、ご紹介いたします。

## 山田香織個展 彩花盆栽 祈りと喜 開催情報

### 【会期】

平成24年2月18日(土)～3月14日(水)

### 【作品数および展示構成】

盆栽 約20点 (各9席×2部)

第一部「祈り」ならびに第二部「喜」を、週替りにて展示

■主催 さいたま市大宮盆栽美術館 ■協力 株式会社 東玉

■後援 さいたま観光コンベンションビューロー、さいたま商工会議所、三越日本橋本店、そごう大宮店、テレ玉、FM NACK5、REDS WAVE、埼玉新聞

### 【特別イベント】

・アーティストトーク (作家による作品解説) ※事前申込必要  
3月3日(土)、3月10日(土) 両日も午後1時30分～

・ギャラリートーク (学芸員・盆栽技師による展示解説)  
2月22日(水)、3月4日(日)、3月14日(水)  
全日程とも午後1時30分～

## 展覧会スケジュール

美術コレクション展3 新収蔵品展 ～描かれた古典園芸植物たち～

平成24年 1月6日(金)～ 2月1日(水)

福寿草などが描かれた浮世絵版画や和書を紹介します。

美術コレクション展4 美術コレクション名品選

平成24年 2月10日(金)～ 3月14日(水)

当館の収蔵品の中から盆器、浮世絵版画、歴史資料の名品を展示します。

特別展 ウキヨエ盆栽園 盆栽デ、明治ヲアソブ

平成24年 3月24日(土)～ 5月15日(火)

派手で、巨大で、かわいらしい! 明治時代の浮世絵版画にあらわされた、盆栽づくしの展覧会です。



館長 菅 建彦

このたび盆美タイムス「ジンシャリ」を発刊し、さいたま市大宮盆栽美術館からのニュースをまとめて定期的にお届けすることにいたしました。世界でただ一つの公立盆栽美術館である当館は、開館後一年半の経験を踏まえて今後の発展方向を探っているところですが、当館のことをもっと多くの人々に知っていただきたいと切望しています。

そこで、これまでバラバラにお知らせしてきた展覧会の案内やその他のお知らせをなるべくこの一誌に集約し、季刊でお届けいたします。当館の学芸員や盆栽技師によるコンパクトな解説記事も掲載し、奥深い盆栽の世界の知られざる一面を継続的にご紹介したいと思います。本誌の内容は引用転載自由としますので、お仕事に役立ててください。

JR宇都宮線土呂駅で降りて当館を訪問後、すぐ南に隣接する盆栽町の盆栽園に寄り、大宮公園や氷川神社とその参道のケヤキ並木を経て大宮駅まで約3km、新緑と紅葉の素晴らしさはいうまでもなく、一年を通じて楽しめる絶好の散歩道です。東京からわずか30km、週末の半日を活用して、当館に是非お越しください。



連載

盆栽の業<sup>わざ</sup> 01「私が盆栽に対する時」

本連載は、大宮盆栽美術館の盆栽技師チーフが担当します。初回となる今回は、「私が盆栽に対する時」。多くの盆栽は、私の年齢(37歳)をはるかに超えた樹齢を誇っています。様々な時代や環境を乗り越えてきている盆栽に接する時には、畏敬・畏怖すら感じます。遠い過去から伝えられてきた盆栽を日々育成管理して遠い未来に伝える事が、盆栽に携わる者の使命です。その為心掛けなければならないのは「理に適う」ことです。私自身20年弱盆栽に携わってきましたが、「理に適う」やり方で盆栽の育成管理を行うことの難しさを痛感しています。幾年の歳月の中で育ってきた盆栽を来館者の方々に観て頂く時にその内在しているモノを打ち消さないように、あるいはそのモノを引き立たせることを念頭に盆栽に対しております。これからの当コラムでは、普段、盆栽技師が行う盆栽の管理や手入れの仕方、そして考え方を織り交ぜながらその魅力を広くお伝えします。

(当館盆栽技師)



## トピックス

## 来館者数 10万人達成

平成23年11月19日に、当館の来館者数が10万人に到達いたしました。平成22年3月28日に開館して以来、495日目での達成。日本国内はもとより、諸外国からも多くの皆様にご来館いただきました。これからも盆栽の魅力を多くの方に届けられるよう、取り組んでいきます。

ロビーコンサート  
「二胡の響き」を開催します

2月26日(日)13時30分から当館のロビーでコンサートを開催します。盆栽をバックにして、中国の伝統的な弦楽器「二胡」の奏者、程農化さんによる演奏をお楽しみいただける企画です。当館ロビーは無料スペースになっておりますので、入館料や参加料はかかりません。是非ご来館ください。

音声ガイドサービス(有料)  
が始まります

1月より音声ガイドサービスがスタートします。盆栽の楽しみ方や見どころ、また展示中の盆栽の解説などを、じっくり、丁寧にご案内いたします。当館の展示をより楽しむことができるようになっておりますので、是非ご利用ください。



(ご利用料金は300円)

# イベント スケジュール 2012

GT … ギャラリートーク
 盆栽 … 盆栽実技
 講演 … 講演会
 コンサート … ロビーコンサート  
 … 新収蔵品展
  … 美術コレクション名品選
  … 山田香織個展
  … ウキヨエ盆栽園

1 January	2 February	3 March
1日	1水	1木 休館日
2月 休館日	2木 休館日	2金
3火	3金	3土 講演
4水	4土	4日 GT
5木 休館日	5日	5月
6金 新収蔵品展	6月	6火
7土	7火	7水
8日 GT	8水	8木 休館日
9月	9木 休館日	9金
10火	10金 美術コレクション名品選	10土 盆栽 講演
11水	11土	11日 盆栽
12木 休館日	12日 GT	12月
13金	13月	13火
14土	14火	14水 GT
15日	15水	15木 休館日
16月	16木 休館日	16金
17火	17金	17土
18水 GT	18土 山田香織個展	18日
19木 休館日	19日	19月
20金	20月	20火
21土	21火	21水 休館日
22日 GT	22水 GT	22木 休館日
23月	23木 休館日	23金
24火	24金	24土 ウキヨエ盆栽園
25水	25土 盆栽	25日
26木 休館日	26日 コンサート	26月
27金	27月	27火
28土 盆栽	28火	28水
29日 盆栽	29水	29木 休館日
30月		30金
31火		31土

## ギャラリートーク【展示解説】

当館の学芸員・盆栽技師が館内を案内しながら、盆栽など収蔵品の解説を行います。  
(各日午後1時30分開場)

- 1/8(日)、1/18(水)
- 2/12(日)、2/22(水)
- 3/4(日)、3/14(水)



## 盆栽実技【盆栽技師による熱血指導!】

当館盆栽技師が剪定や針金掛けなど、盆栽の実技をお見せします。盆栽に関するご質問にもお答えします。どなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越しください。  
(各日午後2時開始)

- 1/28(土)、1/29(日)
- 2/25(土)
- 3/10(土)、3/11(日)



電車利用 JR宇都宮線「土呂駅」下車 東口より徒歩5分  
東武野田線「大宮公園駅」下車 徒歩10分

車利用 首都高速埼玉新都心線「新都心西」出口より約6km  
東北自動車道「岩槻」出口より約9km  
駐車場：一般車両39台、大型バス3台、障害者用2台

**開館時間** 3月～10月 午前9時～午後4時30分  
 11月～2月 午前9時～午後4時  
 (入館は30分前まで)  
**休館日** 木曜日(祝日をのぞく)、年末年始、臨時休館あり  
**観覧料** 一般 300円(200円)  
 高大生・65歳以上 150円(100円)  
 小中学生 100円(50円)  
 \*障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方一名は半額  
 \*( )内は20名以上の団体料金  
**発行**

さいたま市  
**大宮盆栽美術館**  
 Bonsai Art Museum

<http://www.bonsai-art-museum.jp>  
 〒331-0804 埼玉県さいたま市北区土呂町 2-24-3  
 TEL 048-780-2091 FAX 048-668-2323